

発達障がいとどう向き合うか

発達障がいとは、自閉スペクトラム症（広汎性発達障害）、注意欠如・多動症（注意欠如・多動性障害）、限局性学習症（学習障害）などの脳機能の発達に関係する障がいです。本公開講座では昨年度に引き続き、発達障がいについての理解を深めるとともに、子どもたちの具体的な支援方法について考えていきたいと思えます。

第1回 2017年9月2日（土）受付：13:00 開演：13:30～16:30

協調性運動障害のある子どもの評価

一眼球運動、視知覚認知、粗大/巧緻運動、感覚、運動企画について

講師：藪中 良彦 先生（大阪保健医療大学 教授/理学療法士）

【講師プロフィール】

広島大学学校教育学部養護学校教員養成課程卒業。クィーンズランド大学（オーストラリア）健康科学部小児理学療法修士課程で発達性協調運動障害（DCD）について学ぶ。2012年9月より月に1～2回阿倍野区役所で「びあべのん」PT専門相談として、4～9歳の協調運動に難しさのある子どもたちへアドバイスを提供している。

【講演内容】

発達障がいのある子どもたちの中には、協調運動に障害があり、その不器用さが社会生活を送る上で大きな障壁となることがあります。それぞれの子どもの異なる難しさを細かく評価・理解し、適切に介入することで、子どもたちは確実に変化し、より社会に受け入れられるようになると思えます。今回の講座では、そのような子どもたちの不器用さの原因を探る評価の方法をお伝えします。

※今回は実技なども入り、より専門的な内容となります。



第2回 2018年1月7日（日）受付：10:00 開演：10:30～12:00

タイにおける発達障がいの作業療法（仮）

講師：Sarinya Sriphetcharawat 先生（タイ、チェンマイ大学/作業療法士） ※日本語通訳あり

会場 大阪保健医療大学1号館

対象 どなたでもご参加いただけます

定員 100名（先着） **参加費** 無料

申込 7月下旬～HP, FAX（裏面）またはお電話にてお申し込みください

PC <http://www.ohsu.ac.jp>



お問合せ先 0120-581-834

※当日の個別相談は受け付けておりません。



アクセス

- 「天満橋」駅から徒歩約8分
- 「大阪天満宮」駅・「南森町」駅から徒歩約10分

大阪保健医療大学は、リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）を育てる学校です。リハビリテーションでは、発達障がいのお子さまも支援しています。私たちは、地域の健康づくりに貢献し、社会に開かれた大学を目指しています。



大阪保健医療大学 1号館
OSAKA HEALTH SCIENCE UNIVERSITY
〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27

- 保健医療学部リハビリテーション学科
・理学療法学専攻・作業療法学専攻
- 専攻科・言語聴覚専攻科（4年制大学卒業以上対象）
- 大学院 保健医療学研究科

大阪保健医療大学 2017年度 公開講座

参加申し込み書

FAX:06-6354-8887

※の項目は必ずご記入ください。

お申し込み日	年 月 日		
お申込の講座	2017年9月2日(土) 第1回:協調性運動障害のある子どもの評価 —眼球運動、視知覚認知、粗大/巧緻運動、感覚、運動企画について—		
フリガナ ※氏名			
生年月日	年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
※住所	〒		
※電話番号			
メールアドレス			
※参加人数	()名		

◆ご記入いただいた個人情報は、公開講座の案内および諸連絡にのみ使用いたします。